

本から学んだ 人生論

LEARNED FROM THE BOOK - THEORY OF LIFE

佐藤秀雄 スタイリッシュグループ代表

7日間で人生を変えよう 自分をプロデュースする！



「自分をプロデュースする！」
そのためにはまず、本当の自分を知ることからスタートしてはならない。

7日間で人生を変えようの本のタイトルに魅かれ私は読み始めた。たった7日間で本当に人生が変わるのだろうか？ もしかしたら、ただの絵空事もかもしれない。著者は「本書でご紹介するシステムの力を保証します」と書いている。私は半信半疑だった……。

しかし、読み終わると疑念は、完全にくつがえされていた。実際には、ほんの一晩集中して読むことで、私の人生観は変わっていたのだ。変わったというよりは、この本で、自分の知らない自分を知ることができたと言った方が正解かもしれない。本の中にある質問に答えていくことで、これまで認識していなかった自分を知ることができたからだ。脳は適切な質問をしてやることで、自分自身も分かっていた潜在意識の領域まで使い、答えを導き出してくるのだ……。

本書の目的は、皆さんが自分自身と自分の人生を思いのままにできるようにお手伝いすることだそう。本当の自分を導き出す質問！

の一端をご紹介します。

「あなたは、絶対失敗しないとわかっていたら何をやるだろうか？」

もし、一瞬でもこの質問について考えたことがあるのなら、あなたは歴史上海輝かしい成功を収めた人すべてと、同じことをしたことになる。現実の世界で何かを起こすためには、まず空想の世界でそれを起こす必要があるからだ。自分の人生や、自分自身、あるいは世の中を良くするために、まず自由に夢見る必要があるのだ……。私はこの質問に対して制約なく答えたことで、本当の自分の願望を知ることができた。荒唐無稽な「夢」を知ったといっても良いのかも知れない。ちよつぱり恥ずかしいが、私の夢は「世界から貧困をなくすこと」「奨学金制度をつくること」だった。この答えは自分にとっても想定外。もっと欲望丸出しの答えが出てても可笑しくないから、俺って意外と良い人なんだな(笑)

「あと一週間で、この世が終わりを迎えるとしたら、あなたは何をやるだろうか？」

この質問に対する答えが、自分の価値観つまり自分にとって、一番大切なものを知る力ぎを握っている。この答えは、意外と皆同じではない。決して偶然の結果ではないと思う。人生という限られた時間を如何に大切に扱うかで、結果は大きく違ってくるのだと思うから。幸せな自分になるために、セルフイメージの再プログラミングをするべきだろう。

質問から導き出した願望のように、私が生あるうちに、世界から貧困を全てなくすることはできないかもしれない。しかし、ほんのちよつとの貢献をすることはできる。人類で皆が、ほんのちよつとずつ心掛けることで、何万、何十万の人達を貧困から救うことができると思う。そのための活動を継続するのだ。

あと一週間で人生が終わるとしたら、周りの人達に感謝を伝えると答える人は多いだろう。では、あなたは一週間後に生きていたのだろうか？ 保証はどこにもない。つまり、感謝を伝えるのはやはり、今なのだ。

自分が理想とする言葉を壁紙に刻まれるような人生を送るためには、今を大切にしなければならぬ。そんなことを気づかせてもらった。

人生とは、新たな能力の習得と挑戦の絶え間ない繰り返しであり、得たものと学んだことの幅を広げ、強固にしていく継続的過程だ。

幸せとは、健康で笑いあえる友人や家族、良い刺激になる魅力的な人々に囲まれて、親しみと喜びを分かち合い、喜ぶことだ。

うか？ もう一週間しかない！ となったら今更ジタバタしても仕方ない。テーマは「感謝」だ。家族、仲間、友、お客様といった自分がこれまでお世話になってきた人達に感謝の言葉を伝えること。そして、残される人達に迷惑がかからないように身辺整理し、良い思い出とともに、皆の心に残る時間の使い方をしよう。

「あなたが心から尊敬する人の、最も素晴らしいと思う資質を3つ挙げてみましょう。」「一番すばらしい時のあなたはどんな人ですか？」「この2つの質問に答えたとき、尊敬する人物の素晴らしい資質と、私が自分の中にちよつぱりある、いちばん素晴らしいと思う部分が合致することに気がついた。「決してあきらめない強さ」「本物の優しさ」「本物が持つ人生観、世界観」そのすべてが融合し、王道を歩む人間性が私は好きなのだ。こいつた部分を、もっと自分の中に取り込んでいき、魅力的な人間になりたいと思う。

「生前の自分を最もよく表す一文を壁紙に彫るとしたら、どんな内容にしますか？」この質問は、この世を去ったからの自分を想像することで、自分の理想とする生き様を導き出してしまおう。私は「どんな逆境でもあきらめず王道を歩んだ

夢を描き、自らの価値観に従って目標を追求すれば、奇跡は必ず起きる！ 今までの人生とは違う結果を出したいのなら、慣れ親しんだ居心地の良い場所から抜け出して、やり方を変える必要がある。そう思う。そんなことも学んだ。

私は何度も何度もこの本を読み返した。そのたびに琴線に触れた部分に赤や緑の線を引いた。今では線だらけの本になってしまっているこの本は宝物だ。

この本には、ここにあげたような本当の自分を知るための質問が、ぎつしりと詰め込まれている。「自分をプロデュースする！」
読書の秋に是非、チャレンジしてみてくださいいかがでしょうか？

▲何度も読み返し、線だらけになってしまった本



佐藤秀雄(さとう・ひでお)
スタイリッシュグループ代表

株式会社スタイリッシュハウス 代表取締役
株式会社総合設備 代表取締役
株式会社夢家プロジェクト 代表取締役
NPO法人 スタイリッシュライフ 代表理事

スタイリッシュハウスHP
<http://www.stylish-house.com>
(佐藤秀雄のブログも掲載)

男「世界から貧困をなくすため
貢献した人」「粹でカッコイイ人
生」「大きな愛」そう刻まれたい
と思つた。ちよつと欲張り過ぎか
な(笑)

私たちは無意識のうちに、自分が想像している自分の姿と矛盾しない行動をとってしまう。だからこそ、想像の中の自分を理想の自分にしなくてはならない。そして、本当の自分気づかなくてはいけないのだ。もつと自分の可能性や素晴らしさに気づいてほしい。本当の自分を知るのに年齢は関係ない。今日より若い日は、ないのだから……。

人生を良くしようと真剣に努力すれば、かならず報われる！ そう信じている。成功も幸福も、

幸せとは、健康で笑いあえる友人や家族、良い刺激になる魅力的な人々に囲まれて、親しみと喜びを分かち合い、喜ぶことだ。

EPISODE 07

1967年生まれ。足利市出身。建築設備工事会社。人材派遣会社勤務を経て、28歳で起業。設備工事からスタートし、リフォーム、新築住宅販売へと会社を飛躍的に成長させる。2009年より「夢家プロジェクト」を開始。大手コンサル会社とタイアップし「高品質で低価格な住宅」を提供するプロジェクトをプロデュース。全国63社の建築会社を組織化している。2011年9月に著書「ゼロからはじめる家づくり(あさ出版)」を出版。2012年には世界的コンサルタントの大前研一氏が創立した「新塾」を卒業。卒業発表では、地域活性化の企画をプレゼンし、「主体的市民賞」と「最優秀理事長賞」をダブルで受賞。2012年12月介護事業に進出。マイサービス「スタイリッシュライフ」を立ち上げる。会社理念は「愛してる。」お客様を愛し、仲間を愛し、地域を愛し、仕事を愛している。

LEARNED FROM THE BOOK - THEORY OF LIFE

written by Hideo Sato